

検定合格者

《漢字検定》

- 準2級 比嘉華香 3年
- 3級 崎浜花蓮 2年
- 4級 下地未羽 2年
- (5級 1名)

《英語検定》

- 3級 大城日和葵 2年
- 3級 島袋真華 2年
- 3級 玉城伊織 3年
- 3級 上地愛沙 3年
- 4級 高松豊生 2年
- 4級 樽見樹 2年
- 4級 上間彩絵 2年
- 4級 比嘉ひかり 2年
- 4級 宮城結衣 2年
- 4級 伊波星奈 2年
- 4級 小川美紅 2年
- 4級 渡口彩夏 2年
- 4級 比嘉亜寿香 2年
- 4級 比嘉俊太郎 2年
- 4級 宮城直季 2年
- 4級 与那城拓弥 3年
- 4級 金城結乃 3年
- (5級 1年14名・2年3名)



十一月五日 水(生徒会長選挙が行われました。今回3名の立候補者があり、推薦人立候補者ともに堂々とした演説をしてくれました。即日開票の結果、下地壘さんが当選しました。写真は、選挙管理委員長の仲村颯斗さんから新生徒会長へ当選証が渡された所です。新執行部の認証式は、二十五日に行われます。

第四十三代生徒会長下地壘さん！



第51号
校長 久高利美子

与那覇通さん講演会(家庭教育部)

十一月十一日 父PTA家庭教育部主催の講演会が行われました。講師は本校で生徒指導支援員を務める与那覇通さん。子どもをもつ親や地域に伝えたい事…それは、今の子どもがあるのは、親であるという事。「通さんは、ユニークな経歴を持ち、また北部の小中学校のバスケット部の外部コーチとして二十一年間学校に携わってきた方です。当日は保護者、学校関係者、卒業生等と七十二名の方が参加しました。講演後の感想を掲載します。

○親 大人地域の大人の器の大きさ、広さを持つことの大切さを改めて感じました。子どもの自由を樂しさを喜び権利をしつかり認めてあげ続ける事の大切さを知らせていこうと思えました。子育て、子育て、自分育てにはつながり大事なんですね！

○生半可な知識、他人の批判…思い当たります。褒める、見守る意識して大切にしていきたいと思いま

す。どんなことにも横のつながり、縦のつながりが大事だと思えました。様々なことを受け入れ、一緒に見守る体制ができる保護者でありたいです。何でも続けることが大事だと思えますが、子どもがやめたいと言った時にやめていいよと言ってしまうのでしょうか、その判断が難しいです。

○いろいろな経験が人との関わりの方の大切さを感じました。そこには愛があることを痛感しました。

○目線を下げて、子どもと向き合うこと、いいフレーズだと思つ。とても印象に残りました。

○親、先生とは違う目線なので言えることがあったと思う。自分の子どもとどう接するか考えていきたい。

○適材適所、みんなそれぞれあつて、学校に行かなかつた子たちにも声をかけ、区の作業を手伝ってもらっている。必要とされていると感じると嫌な顔もせず、作業やイベントに自分から進んで参加してくれる。今日の話を聞いて、居場所には大切だと感じた。

